

Gmail 読み取り専用データアクセス条件

この条件は、顧客組織の承認済みユーザーまたは管理者が、文書取り込みのために Gmail inbound を接続する場合に DynamicMail が要求する Gmail アクセスについて説明します。

この文書は Gmail inbound のみを対象とします。Google Drive 向けの完全な Google Workspace データアクセス条件として使用してはなりません。

スコープ

DynamicMail は、顧客組織の承認済みユーザーまたは管理者が文書取り込みのために Gmail inbound を接続する場合に限り、<https://www.googleapis.com/auth/gmail.readonly> を要求します。このスコープにより、DynamicMail は接続された Google アカウントの Gmail メッセージおよび設定を表示できます。DynamicMail はこのスコープを読み取り専用の受信処理に使用し、Gmail メッセージの送信、変更、削除、アーカイブ、ラベル付け、または移動には使用しません。

openid、email、profile などの Google サインインの ID スコープは、この Gmail データアクセス同意とは別のものです。Google でログインすることは、Gmail inbound アクセスへの同意を意味しません。

DynamicMail がアクセスできるデータ

Gmail inbound が接続されている場合、DynamicMail は受信した業務文書を見つけて処理するために必要な Gmail データにアクセスできます。これには以下が含まれます。

- メッセージ ID、スレッド ID、履歴 ID、ラベル参照、および同期カーソル。
- 送信者、受信者、件名、日付、ヘッダー、およびその他のメッセージメタデータ。
- 文書の文脈を特定するために必要なメッセージ本文およびスニペット。
- 請求書、通知、契約、領収書、またはその他の顧客組織文書を含む可能性がある添付ファイルおよびインラインファイル。
- Gmail API が readonly スコープまたはアカウント同期動作のために必要とする場合に限る Gmail 設定。
- Gmail コンテンツから作成された派生データ。例として、解析済み文書フィールド、OCR テキスト、分類ラベル、抽出結果、要約、監査イベント、および文書レコードがあります。

DynamicMail は、表示される受信文書取り込み機能に関係しない Gmail データを要求または処理すべきではありません。

目的

DynamicMail は、顧客組織が選択した Gmail inbound ソースを提供するために Gmail 読み取り専用データを使用します。想定される目的は以下のとおりです。

- 顧客組織の業務文書を含む可能性がある受信メッセージを検出すること。
- 顧客組織が処理を選択した添付ファイルまたはメッセージコンテンツを取り込むこと。
- 文書を抽出、分類し、DynamicMail ワークフローヘルパーティングすること。
- 同じメッセージが繰り返し取り込まれないように同期状態を照合すること。
- 承認済みの顧客組織ユーザーに、接続、同期、および処理の状態を表示すること。
- 適用されるポリシーおよび顧客組織との契約で許可されるトラブルシューティング、セキュリティ、監査、および法令遵守の活動を行うこと。

DynamicMail は、Gmail データを販売したり、広告またはリターゲティングに使用したり、データブローカーへ移転したり、監視目的で使用したり、信用力または融資適格性を判断するために使用してはなりません。

保持

DynamicMail は、表示される受信文書機能、顧客組織の文書保持設定、監査記録、セキュリティ、紛争対応、または法令遵守に必要な期間に限り、Gmail 由来データを保持します。OAuth トークンおよび同期メタデータは、接続された Gmail inbound ソースを運用するため、または必要な監査記録を保持するために必要な期間に限り保持されます。

生の Gmail メッセージコンテンツ、添付ファイル、および派生文書データは、開示された目的に不要になった時点で削除または匿名化されるべきです。ただし、法的、セキュリティ、監査、または顧客組織の保持義務により継続的な保持が必要な場合を除きます。

削除

顧客組織の承認済みユーザーまたは管理者は、Google 由来のキャッシュデータ、取り込まれた添付ファイル、抽出テキスト、および派生文書レコードの削除を要求できます。DynamicMail は、顧客組織の保持設定および適用法で許可される場合、要求されたデータを削除または匿名化すべきです。

DynamicMail に取り込まれたレコードを削除しても、Gmail 内の元のメールまたは添付ファイルが必ず削除されるわけではありません。Gmail readonly スコープは、DynamicMail に Gmail メッセージを変更または削除する権限を付与しないためです。

取消しと接続解除

顧客組織は DynamicMail 内で Gmail inbound を接続解除できます。接続解除またはローカル同意の取消し後、DynamicMail は Gmail inbound 用に保存された OAuth トークンの使用を停止し、接続済みアカウントから追加の Gmail メッセージを読み取ることを停止しなければなりません。

Google アカウント所有者は、Google アカウント設定でアプリの承認を取り消すこともできます。Google の承認が取り消された場合、DynamicMail はトークン更新または API 呼び出しが失敗した時点で Gmail API アクセスを停止し、接続は切断済みまたは再接続が必要な状態として表示されるべきです。

ローカルでの取消しは、すでに取り込まれた DynamicMail 文書を自動的に削除しません。これらのレコードは、上記の削除および保持ルールに従って処理されます。

AI、OCR、および抽出の使用

DynamicMail は、Gmail 由来のメッセージコンテンツおよび添付ファイルに対して、顧客組織向けに表示される受信文書ワークフローを提供または改善する目的に限り、OCR、解析、分類、要約、およびその他の AI 支援処理を使用できます。Gmail データおよび派生データは、顧客組織が要求した機能の外で汎用の機械学習モデルまたは AI モデルを作成、訓練、または改善するために使用してはなりません。

AI 支援による結果は誤っている可能性があります。DynamicMail は、抽出データを、承認済みユーザーが製品フローに従って確認、修正、承認、拒否、または削除できるワークフロー出力として提示すべきです。

サポートおよび人によるアクセス

DynamicMail の担当者、請負業者、またはサブプロセッサは、以下のいずれかに該当する場合を除き、特定の Gmail メッセージ、添付ファイル、抽出テキスト、または派生 Gmail データを読むべきではありません。

- ユーザーが、特定データへのアクセスを必要とするサポートを明示的に依頼した場合。
- セキュリティ調査、不正利用防止、またはインシデント対応のためにアクセスが必要な場合。
- 法律、法的手続、または顧客組織の拘束力ある指示に従うためにアクセスが必要な場合。
- データが内部運用のために集計または匿名化され、特定ユーザーの Gmail コンテンツを読めない場合。

サポートアクセスは最小権限に基づき、実務上可能な場合は時間制限され、監査可能性のために記録されるべきです。

法務レビュー状況

これは実装およびローカライズ用の資料であり、最終的な法的助言ではありません。別個のレビュー証拠なしに、Google の承認、外部弁護士の承認、または本番環境での制限付きスコープ利用許可があるものとして提示してはなりません。

参照元

- DynamicMail restricted-scope contract:
Documentation/DynamicMail/LocalizedIntegrations/google-restricted-scope-compliance-contract-2026-06-02.md
- Google API Services User Data Policy: <https://developers.google.com/terms/api-services-user-data-policy>
- Google Workspace API user data and developer policy:
<https://developers.google.com/workspace/workspace-api-user-data-developer-policy>

- Gmail API scopes: <https://developers.google.com/workspace/gmail/api/auth/scopes>
- Google restricted-scope verification guidance:
<https://developers.google.com/identity/protocols/oauth2/production-readiness/restricted-scope-verification>